

令和6年度全国学力・学習状況調査 小学校版 【美作市 結果・概要】

美作市教育委員会 学校教育課

○平均正答率(小6) 割合 (%)

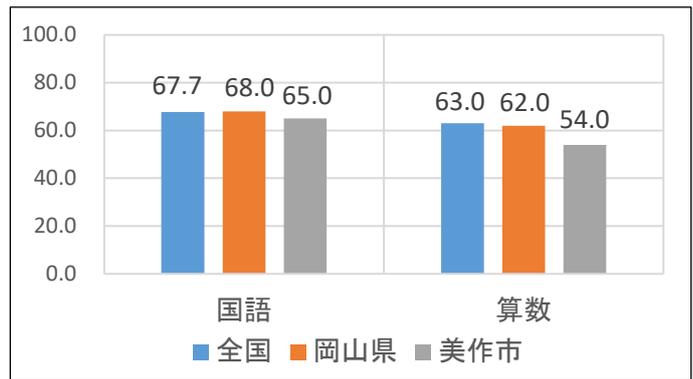
	国語	算数
全国	67.7	63.0
岡山県	68.0	62.0
美作市	65.0	54.0

【国語】

・【思考力・判断力・表現力等】文学的な文章を「読むこと」において課題が見られた。

【算数】

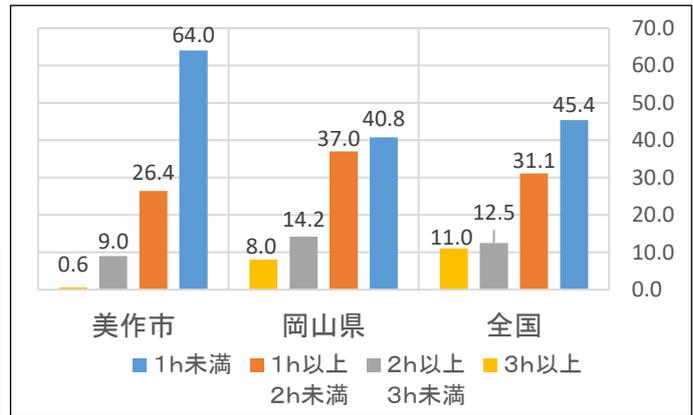
・すべての領域において、【知識・技能】【思考力・判断力・表現力等】ともに、全国平均を大きく下回った。



○平日の家庭学習時間(小6) 割合 (%)

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	45.4	31.1	12.5	11.0
岡山県	40.8	37.0	14.2	8.0
美作市	64.0	26.4	9.0	0.6

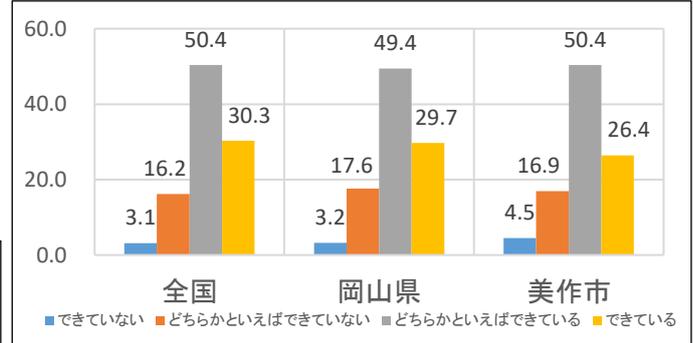
・家庭学習時間は昨年度（5年生時実施の県調査結果）と比較すると、1時間未満の割合が4.2ポイント増加した。ただし、家庭学習時間と正答率の相関性は見られない。
・一人一台端末を持ち帰り、デジタル教材を活用しながら、授業と家庭学習の連動による自律的な学びの促進を図る。



○学び方を自分で考え工夫する(小6) 割合 (%)

	できていない	どちらかといえ ばできていない	どちらかといえ ばできている	できている
全国	3.1	16.2	50.4	30.3
岡山県	3.2	17.6	49.4	29.7
美作市	4.5	16.9	50.4	26.4

・肯定的な回答は全国、県平均をやや下回っている。
・児童が「学び方」を身に付けられるような授業改善により、自律的な学びの促進を図る。



【全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題及び改善のポイント】

【国語】

◎「文章を読み、心に残ったところを書く」問題において、全国平均をやや上回った。

→「単元全体を通した言語活動」を設定した授業改善の成果である。

●文学的な文章を「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉えること、人物像や物語などの全体を具体的に想像することに課題がある。

→児童が、「文学的な文章」「説明的な文章」それぞれの「読み方」の視点を身に付けられるよう授業改善を図る。

【算数】

◎「数と計算」領域における2年生の内容が、全国との差が最も小さかった。(-0.4p)

●「数と計算」領域における5年生の内容が、全国との差が最も大きかった。(-12.4p)

→3年生の内容からつまずきが顕著になっているため、中学年から基礎の積み残しを減らすための組織的な取組を行う。

【学び方】

→授業や家庭学習において、児童が自ら「学び方」を選択・決定したり、自己調整したりする場面を設定する。また、「教科の見方・考え方」を重視した授業改善を図るとともに、その「見方・考え方」を活用できる「探究的な学習」を積極的に取り入れる。

【その他】

◎「朝食を毎日食べている」「同じ時間に寝ている・起きている」の質問項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。家庭での生活習慣は整っている。

●「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」の質問項目で、肯定的な回答が全国平均を下回っている。

→教育活動全般において「自己選択」「自己決定」できる場面を設定し、過程を認める言葉かけや価値づけの工夫を行う。家庭や地域と連携し、児童が学校の内外で活躍できる機会を提供する。